

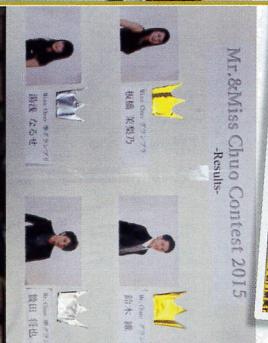
年次支部ニュース

第5号



白門祭

中：Mr.&Miss.コンテスト 下：ホームカミングデー



学員会へようこそ 諸君は母校の宝です

中央大学学員会
会長 久野 修慈



2016年 ご卒業まことにおめでとう
ございます。

今年、卒業された皆さんは、社会人として、或いは大学院等に進まれる方もいるでしょう。どちらに進んでも中央大学の卒業生として学員(同窓)となるわけです。中央大学学員会は、全卒業生で構成されている団体です。学員会の目的は、母校中央大学への支援と学員間の親睦交流にあります。

近年の少子高齢化社会の下で、入学者も減少しつつあり、学生の確保に大学間の競争時代になりつつあります。中央大学では、昨年中長期事

業計画が策定され、今年は、その施策実行の初年度になります。大学当局が自ら確実に施策を実行することが重要なこととなりますが、学員会としても学員が一丸となって支援していく所存です。

皆さんは、これから社会人としてより充実した人生を謳歌することを期待していると思います。そのためには、交流の輪を広げることが大切で、学員会を大いに活用してください。

学員会の構成は、各卒業年度で構成する年次支部があり、各支部を横断的に交流する年次支部協議会が幅

広く活動しています。また、全国の都道府県に地域の支部、職業区分による職域支部があります。卒業生は、これらの希望する支部を選んで入会できます。そして、交流のネットワークの下にゆるぎない絆となり、終世交流を図れるでしょう。

卒業生の皆さん、健康で気概のある若者となって国際・国内の職場や学校で、中大精神を大いに発揮し頑張ってください。若者は母校の宝であり、国の宝です。期待しています。学員会は、皆さんが各支部に入会されることを心待ちにしています。どの支部からも歓迎されるでしょう。

特集ページ

卒業おめでとう

年次支部協議会 代表幹事

松 木 茂 夫
(白門44会支部会長)



2016年ご卒業の皆様へ。

ご卒業おめでとうございます。

そしてOB会組織である学員会年次支部(白門会2016)へようこそ、先輩諸氏が大歓迎しています。

輝かしい第一歩の門出に際し一言。書家の相田みつをさんが残した名言集に「失敗を恐れない心の受け身をつける」という言葉があります。私なりに解釈すると、皆様方は今後あらゆる所で物事に挑戦することになります。そこで、たとえ失敗しても下を向いてくよくよせず、うえを向いて青空を見上げると、不思議と夢と希望が無限に広がって見えます。些細な失敗やつまづきを忘れさせてもらえ、そして、また新たなチャレンジ心が自然と湧いてくるものです。釈迦に説法ですが、「失敗は成功への道しるべ」であります。

母校中央大学を「絆」にそれぞれの分野で頑張ってください。

皆様方の白門会2016は63番目の学員会年次支部(OB会支部)となり

ます(昭和27年会～白門会2016迄の年次支部を束ねている組織が年次支部協議会です)。

卒業後は皆様バラバラになりますが、1年に一度集結できるようにと先輩OB会支部が応援しています。その先駆けとして、年次支部協議会が協賛し、白門44・45会支部が、今回の卒業パーティーを企画実行した(白門会2016)磯貝健人氏・青木大輔氏・坂本光輝氏及び一年先輩の白門会2015支部/長谷部由利 幹事長・茂木美由紀幹事の皆様方との交流会が実現しました(2015/12/5・白門44・45会支部忘年会にて)。当日は楽しい抽選会や美味しい料理・お酒に酔い、先輩・後輩とのコミュニケーションが図られ、非常に有意義で、リフレッシュしたひと時でありました。

年次支部協議会は、今後とも皆様方若手支部育成の為、応援していきます。お気軽にご相談ください。



卒業パーティー

卒業生の皆様へ ◆ 白門2016 「最後の文化祭」を開催 ◆

2016年3月卒業予定者を対象にした卒業パーティーを開催します。「最後の文化祭 最高の思い出を、みんなで。」のコンセプトどおり、中大生として最後の思い出を作るとともに卒業を祝い、また学員会支部「白門2016」の結成に向けて絆を深め、これから社会へ羽ばたく励みとしましょう。

日 付：2016年3月24日(木) <http://www.vision-tokyo.com/>
参加費：3,000円(予定)

時 間：17時開場、21時終了予定
場 所：SOUND MUSEUM VISION

渋谷区道玄坂2-10-7新大宗ビルB1F(渋谷駅から徒歩5分)

【主催】白門会2016準備委員会

【後援】中央大学学員会

詳細については
2月に発送致し
ました案内状を
ご確認ください。



卒業生から

法学部政治学科

機 員 健 人

「同窓会を通して卒業後もみんなと盛り上がり生きていけたら…」そんな思いで白門会2016準備委員会の会長を務めています。

白門会2016では、横の繋がりを、縦の繋がりを作り、大学の発展に貢献する事を理念としています。

意外と今迄ありそうでなかった(2016年卒業生による)横の繋がりですが、これからどんな作っていくたいと思います！ その第一弾が3月24日の卒業パーティー！ 過去最多、過去最高、他大学にも負けない！ そんなパーティーになったであろうと思います(この記事は1月に執筆中です…笑)。

ただ、卒業パーティーはあくまで始まりです。卒業後も、業界を跨いでの交流会や勉強会、旅行や飲み会など定期的に開催し、楽しく、楽しく、時々真面目な会にしていきます。縦の繋がりととは？ 白門会2016は239番目の支部となりますが、238の支部には、各界で、世界中で活躍される方がたくさんおられます。そんな方々と交流していく事で、中央大学を、そして私達自身を盛り上げていきます！ これが縦の繋がりでです。

昨年は白門44会、白門45会(昭和44、45年卒の会)、白門会2015の方々の忘年会に参加したりもしまし

た。100人近い参加者がおり、卒業後何年経ってもこんな関係を築けたら良いなと感じてました！

まだまだ書き足りないのですが……、とにかく卒業後も白門の仲間としてみんなで盛り上がりましょう！ よろしくお願いします。色々な企画を行いますので、たまに「白門会2016」で検索を！！

法学部国際企業法関係学科
平 尾 駿 明

今後の同窓会の第一歩となるような、新卒業生の力を結集した卒業パーティーの実現を目指し、多くの皆様方の協力を得て、これまで助んで参りました。思い出せば、たくさんの方の苦勞がありました。その中でパーティーの成功に向けて、卒業前の忙しい期間を全力で協力してくれた同期の立ち上げメンバーの仲間達や、多大なる支援助とご協力を頂いた大学関係者や同窓会のOB・OGの皆様には心より感謝を申し上げます。本パーティーのテラグラム一つ一つが皆様のご協力の賜物であると同時に、新しい進路へと飛び立つ同期生の力強さの象徴であるように感じております。

学生としての最後である本パーティーが新卒業生の門出を盛大に祝い、一方で白門会2016の最初のスタートラインとして、卒業後の一人でも多くの同期の皆様とのつながりを作る第一歩となることを願っております。

経済学部経済情報システム学科
坂 本 光 輝

私は中央大学に入学してすぐに経理研究会へ通い、公認会計士試験のための勉強をしました。幸いな事に大学2年時に合格することが出来、PwCあらた監査法人に就職します。その後は経理研究室で働いたり、会計事務所で働いたりしていました。

また、英語、グローバルなコミュニケーションを学ぶために3年時、中央大学の国際寮にも入りました。ここでは普通学べないことを学びました。

現在、私は白門会2016準備委員会の一員として運営に携わっております。この会では、中央大学の発展に寄与するという理念のもと、同期との横の繋がりを強固にし、さらに先輩方や後輩と有機的に繋げていきたいと思っており、同窓会組織がより大きなものになるよう改善していく事で、中央大学の壮大な発展に貢献出来ると思っております。その第一歩が3月24日の卒業パーティーです。今後とも是非よろしくお願い致します。

法学部政治学科
青 木 大 輔

私は、大学時代の大部分を、法科大学院進学のための受験勉強に費やしてきました。中央大学に対して非常に感謝しています。中央大学に入學していなければ、自分の現在の進路はなかったと考えています。というのも、入学当時には弁護士をめざしたいという漠然とした目標を具体的になものとし、勉強環境そのものももちろん、頼りになる先輩、切磋琢磨できる同期、鋭い質問を投げかけよく困らせてくれる後輩など、これらの環境を与えてくれたからです。

来年度からは、京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻、いわゆる法科大学院(ロースクール)に進学し、司法試験に向けて研鑽を重ねることになります。大学は異なりますが、中央大学というネットワークの大きさを、大学院卒業に再びひしひしと感じることとなるかと思えます。そのときには、また、我々2016年卒世代に、皆様のご助力のほどよろしくお願い申し上げます。



学会のページ

同窓の輪を 広げよう!

中央大学では卒業生を学員と呼び、2015年に創立130周年を迎えた54万人の同窓会です。学員会支部には241支部があり、地域122支部(国内・海外に居住・在勤する学員組織)、職域57支部(職種・企業・出身サークルなどの組織)、年次62支部(その年に卒業した年次の組織)で構成されています。様々な分野で活躍している54万人のネットワークを繋ぎ、皆さんが交流・発信する場を提供しています。

学員会とは

???

どんなサービスや支援があるの?

- ▶ 学員時報、ホームページ等による情報発信
- ▶ 学員交流の場所の提供(東京白門サロン・駿河台記念館7F 大阪白門サロン・阪急グランドビル19F眺望最高)
- ▶ ホームカミングデー(大学主催)への協力
- ▶ 学術・文化講演会の開催
- ▶ 学員カードによる図書館利用、契約ホテルの優待価格利用、施設の割引、オンラインレッスン受講など特典多数

平成28年度

全国支部長会議 開催予定

2016年5月20日(金)
14:00~

定時協議員会 定時学員総会

2016年5月21日(土)
13:00~

場所：中央大学駿河台記念館

学員支部 への支援

- ▶ 活動支援金の交付
- ▶ 支部役員会開催のための会議室提供
- ▶ 会員増強のための情報提供

この他にも母校中央大学への資金協力及び在学生への奨学援助、進路相談会、学術文化・スポーツにおける優秀学生表彰などを行っています。

問い合わせ先

《中央大学学員会本部事務局(本会の運営及び事務処理)》
〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 駿河台記念館7F
TEL: 03-3219-6175 / <http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/gakuinkai>

祝

卒業生全員に、**学員会から**卒業を記念して「卒業記念MugCup」が贈呈された。

—学員間の絆が広がり、学員間の親睦を記念して—



新規会員の参加を歓迎します!!

各年次支部は、同期会の集まりで大学、学員会会員との繋がりで活動しています。

- ▶ スポーツ応援「陸上・水泳・野球・ラグビー他」(箱根駅伝の応援、東都大学野球応援、オリンピック選手などの応援ほか)
- ▶ **各年次支部の活動…好みの活動に任意に参加ができます。**
- ▶ 会員間のビジネス交流で人脈の拡大、更に先輩・後輩との繋がりを醸成
- ▶ 趣味の一致で、幅広い交流とコミュニケーションの充実
- ▶ 同期生の各職専門家との交流で、信頼感をもって問題解決への導きを図る
- ▶ 講演会、セミナーなどへの参画により自身の教養などを向上させる

《加入などの問い合わせ》学員会事務局：03-3219-6175

2016

ホームページ
コンテンツ

開催

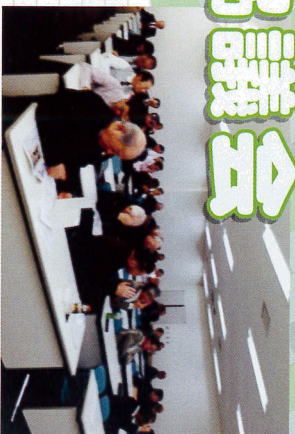
2016年1月5日～2月20日の期間、各支部ホームページのデザイン・コミュニケーション(企画・取材内容)コンテンツの充実度、更新状態などを中心に、審査委員会の厳正な審査のもとに最優秀賞他多数が選ばれ表彰される。3月の学員時報にて発表。

賞金総額
50万円

年次支部協議会

年次支部

協議会とは？



年次支部協議会全体会

学会会の中に、年次支部は現在、白門26会～2015年支部まで62支部あり、それぞれ活発に活動の輪を広げています。年次支部協議会はその老・壮・若の全卒業生年次の各年代を繋ぐ組織です。情報交換、交流をしながら白門の絆を大切に学

員の親睦、母校の興隆と発展に貢献しています。

近年は卒業生全体が参加する年次支部の設立により、年次支部は学会最大の組織になりました。時代の変化に伴い、年次支部協議会の運営

も変わり、若手年次との連携・協力も不可欠なものとなっています。新しい制度では、学員交流委員会、IT推進委員会、学生支援委員会、大学支援委員会、スポーツ応援委員会、広報部等を設置し、活性化を図っています。

是非、誰でもが参加資格のある年次支部の活動にご参加下さり新しいネットワーケ作りにご協力下さい。宜しくお願い申し上げます。

講演会「マイナンバー制度について」を開催

平成27年12月19日(土) 15：10～16：20、駿河台記念館において、中央大学学員会副会長室勝弘氏(リコージャパン㈱取締役)の「マイナンバー制度について」と題する講演会が開催されました。

多種多様なポイントをきめ細かく説明していただきました。さすがに内容が複雑で難解なため、時間内で全てを把握するのは難しく、終了後もたくさんさんの質問が寄せられました。室氏は45会の前支部長ですが、70歳で博士号を取られた勤勉家であり、各方面で活躍しております。



学員交流委員会主催

マイナンバー制度について講演する室勝弘氏

【略歴】 富山県出身、昭和45年中央大学法学部(夜間部)卒業
平成20年中大大学院経済学研究科国際公共経済専攻修士課程修了
平成22年中央大学政策文化総合研究所客員研究員
平成24年中大大学院総合政策研究科総合政策専攻博士後期課程修了博士(総合課程)
【職歴】 昭和35年日本電信電話公社入社、民営化後の平成9年まで勤務
平成9年大明㈱(現㈱ミラント)に入社
その後大明通産㈱代表取締役社長
平成19年リコー販売㈱(平成22年リコージャパン)取締役
その他各学会活動や、著書多数

講演会後、全体会で平成27年度事業実績及び今後の予定について松木代表幹事、各委員会委員長より説明があり、その後はフリオーラにて45名の参加で懇親会となり、世代を越えた交流を行った。

2015年10月25日(日)に中央大学創立130周年を祝う「第24回ホームカミングデー～白門学員祭」が盛大に開催され、会場の多摩キャンパスには4,400人が来場した。

ホームカミングデー 報告

記念式典では深澤理事長、酒井総長・学長、久野学員会会長の挨拶はじめ、五輪担当大臣の遠藤利明氏の祝辞や論文コンテスト、親子三代表彰が行われ、「中央の絆」では69支部の代表が、各幟旗を掲げて、応援歌の大合唱となった。久野学員会会長から2015新支部設立で支部旗が



分部由莉子代表に授与された。各種講演や遠藤五輪担当大臣はじめ東京オリンピック関係の著名なOBの方々による対談はじめ、陸上競技場では箱根駅伝への寄付で造成されたクロスカントリー完成披露式が行われた。平成2年支部を中心にした若手支部主催の「みんなで走ろう タスキリレー」も多くの人が集まり盛り上がった。落語会、大抽選会、各模擬店参加、クラス会など多種多様で、家族連れなども多く盛大なイベントとなった。

元名岐駅伝ランナーが箱根に寄せる熱い思い

中央大学経済学部教授
渡邊浩司



2区を走った経済学部4年の徳永選手

中央大学の卒業生の皆様、はじめまして。経済学部でフランス語を担当する渡邊です。フランス文学を専門にする僕は「文学青年」だったと誤解されることが多いのですが、実は「体育会系」出身で、中学・高校時代には陸上部に、名古屋大学の学部時代には2年次まで体操部に所属していました。学生時代に部活と勉強を両立できたことは、今の僕にとっても大きな支えとなっています。母校の岐阜北高校では、1年と2年の冬に、岐阜周辺で行われた複数の駅伝に参加したことを懐かしく思い出します。

なかでも一番の思い出は、高校2年のときに出場した名岐駅伝です。6区間約40キロからなる中部地区最古の駅伝です。今から30数年前の話になりますが、一番短い区間を任せられた僕は、走り出してすぐに右脚をつり、それが治まると左脚をつり、飛び跳ねるようにして進みました。そのため順位を大きく下げ、チームに迷惑をかけてしまいました。僕はただ号泣するばかりでしたが、監督と先輩たちは、僕が途中で走るのをやめず、タスキをつないで走るのをやめてくれました。戦前から続いていたこの名岐駅伝も、2013年の大会を最後に廃止されてしまったようです。



国際センター事務室
河本梨絵 絵

2016年卒の皆さん、

ご卒業おめでとうございます。

国際センター事務室で勤務しております、河本梨絵と申します。



刺激的な留学生の仲間たち

国際センターでこれまで、KAKE-HASHI Project、英語プレゼンテーション大会や短期留学プログラム等の運営を通じて多くの学生と接してきました。グローバルな人材へと成長する皆さんの目の当たりにして私自身も日々の活力をもらっており、毎日やりがいを感じながら仕事をしています。ずいぶんと以前の話になりますが、私も大学時代に1年間の留学をしたことがあります。初めての海外が1年間のアメリカ留学です。今では飛行機に乗るとすぐに寝てしまい

2区を走った経済学部4年の徳永選手で箱根駅伝を観戦し、中大チームに熱いエールを送っています。経済学部で僕の授業を履修してくれた駅伝メンバーがテレビ画面に映ると、応援にも一層力が入ります。このころ中大の駅伝チームは予選会からの出場で苦戦しています。でも予選会を立派に勝ち上がり、87回も連続で出場を果たしているのは、とてつもなく素晴らしいことです。2001年には中大の往路優勝を見届けましたが、近い将来、是非とも総合優勝を勝ち取ってほしいですね。

の友人とは、今でも良い関係が続いています。

留学から戻ってくる学生たちも、母国に帰国する留学生も、皆さんとても輝いた表情をしています。1年間の留学生活での楽しかったこと、努力したことや困難な経験が、自信につながったのだらうと実感します。外の世界を見ること、外から自分の国を見ることは、視野を広げる良い経験を与えてくれます。

これから社会に出る皆さんは、これまでとは比較できない程広い世界でたくさんの人と出会い、たくさん経験をされるでしょう。楽しいことばかりではありませんが、全ての経験が皆さんを成長させてくれると信じています。様々な経験を通じて、広い視野で物事を捉え、日本や世界で活躍される「かつこいいい社会人」になり後進の刺激となることを、心から楽しみにしています。

ですが、あの時は「一睡もせずにシアトルに到着したことを覚えています。学業的にも精神的にも、それまでの自分の中で一番勉強した一年になりました。授業についていくことも大変で、何度も徹夜の危機がありました。一方で、いろんな国から来る留学生や現地学生との交流は刺激的で、背景にある文化や考え方の多様性、個の大切さも学びました。また、物事にはいろんな視点があることも、この本のことを客観的に見ることも、この時に意識したことでした。この時

学員のページ

真に女性が活躍できる 社会をつくるために



多摩市市議会議員
岩 永 ひ さ か
(平成11年法学部政治学科卒)

国をあげて「女性の活躍推進」に躍起になっている昨今…。とは言え、当の女性たちはこれを心から歓迎しているだろうか？ 意外と冷やかに現状を受け止めている気がしてならない。それはなぜだろうか？ マスコミを通じて目にするのは華々しいと女性」ばかり。市井で暮らしている私たちの現実との落差は大きい。最も相対する位置で語られている「女性の貧困」問題の深刻さはどうだろうか。「女性の活躍推進」の旗印は誰のためにあるのだろうか？ 私たち世代は、大学卒業までは性

別を区別し、さほど意識することもなかった。だからこそ、社会人以後に突きつけられた現実の厳しさを一層痛感する。ようやくとたどり着いた「女性の活躍推進」も、言葉だけが踊っているようで寂しい。私たち女性は結婚し、出産し、子育てに向かうと「生活実感」を手に入れ、身にまとう。さらに「働く」が加わればなおさらのことである。「おしやれ」すら忘れ、仕事と家事に子育てと日々の生活は戦いの連続である。しかし、その戦いにしつかりと与えることができている男性はどのくらいいるのだろうか？ まだまだイクメン(育メン)は少数派

でも、もてはやされる時代である。「女性の活躍推進」のために何が必要か？ 「イクメン」願望を持つことすら許されない社会の古びた意識や慣習をトラステクノロジーに変える手段(=制度)なくして、女性の活躍推進は進むわけなし。やはり、冷ややかにならざるを得ない。これが地域のママたちの声である。そんなママたちと一緒に、「生活実感」を誰もか持てるような社会をめざしたい。そして、これから社会で活躍する多くの仲間たちに「生活実感」の有無を常に意識できる日々を送ってほしいと期待してやまない。

「白門りんごの会」 第3回収穫体験ツアー

白門りんごの会副会長 (44会)
吉 永 匡 宏

「白門りんごの会」では平成27年9月17日、18日と一泊で第3回収穫体験ツアーを実施しました。多数の希望者の中から定員25名が参加し、旬のりんごの収穫と地元との交流そして青森観光を大いに楽しみました。「白門りんごの会」は平成25年5月に発足、青森県三戸町を拠点に地元りんご生産者と手を携え東北復興、地域興しを支援しています。白門44会を中心に各年次、各地域支部の協力を得、現在会員数91名を数えます。

寒暖差のある三戸地域の「さんのへりんご」は甘さと酸味が程良くと



でも美味、ブランド力強化に繋がるよう努力中です。今年も生育は順調で、第3回収穫体験ツアーでは、たわわに実った「つがる」を一人10個程収穫、思わずその場で食しあまりの美味に満面の笑みがこぼれました。心配された天気も良く、青空が広がり、収穫後藤子地区緑化公園で生産者である梅内りんご組合、三戸町農林課との屋外懇親会を実施、地元婦人会の皆様の手作り料理に舌鼓を打ち、和やかな雰囲気での有意義な交流会となりました。

所定時間はまたたくまに過ぎ別れを惜しみながら、三戸町役場のバスで八戸駅へ。青い森鉄道で揺られること約1時間、宿泊地は浅虫温泉海扇閣。各部屋からは陸奥湾が目の前に広がり展望風呂からの眺めも素晴らしい。旅の疲れを癒してくれました。

夜の懇親会には学員会青森県支部からは葛西支部長ほか6名の方々が楽しい懇談の輪に。オール中央の絆、母校中央大学のさらなる興隆、青森

あまりの美味に満面の笑み

参加者の皆さん

復興を願い、大盛会となりました。翌日は陸奥湾遊覧、棟方志功ゆかりの宿「椿館」、昭和太夫青龍寺、水族館等の観光を楽しみ青い森鉄道で帰路に着き八戸駅からは新幹線、終着東京駅へ。東京駅では余韻さめやらず、幹事慰労会の名を借りて、名残の宴となりました。今回も参加者の皆様から大満足の言葉をいただき、松木会長はじめ幹事一同安堵しております。会員の皆様には10月と12月に超美味な三戸りんごが届く予定です。

明年も収穫体験旅行を予定しておりますので、ふるってご参加ください。まだ「白門りんごの会」に未加入の方、入会をお待ちしています。

入会
連絡先

▶白門りんごの会会長 (44会)
松木 茂夫 090 (2764) 6269
▶白門44会幹事長兼事務局局長
山岡 静子 090 (2458) 1793



活躍する学生

頑張れ在校生

湘川のビルボー
石川祐希選手
全日本男子：つなげリオハム!

5月開幕
 リオ五輪出場権をかけて
 世界最終予選へ
 史上初大学生での海外挑戦

1月9日付朝日新聞に掲載された記事▶

お知らせ

◆2016年度(第133回)中央大学
 卒業式・大学院修士学位授与式
 (文系学部・文系大学院)

日時：2016年3月25日(金)

【午前の部】午前11時より

経済学部・商学部・文学部

【午後の部】午後2時より

法学部(通信教育課程含
 む)・文学部・大学院6研
 究科修士課程

場所：多摩キャンパス第1体育館

3階アリーナ

(理工学部・理工学研究科)

日時：2016年3月24日(木) 午後

1時

場所：後楽園キャンパス5号館

4階アリーナ

◆2016年度中央大学入学式

(文系学部・文系大学院)

日時：2016年4月2日(土)

【午前の部】午前11時より

法学部・文学部・大学院6
 研究科

【午後の部】午後2時より

経済学部・商学部・総合政
 策学部

場所：多摩キャンパス第1体育館

3階アリーナ

《年次支部ニュース 第5号》 2016年3月10日 発行

発行者／中央大学学員会年次支部協議会

発行人／松木 茂夫

編集／年次支部協議会広報部

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学員会事務局気付

TEL 03-3219-6175

印刷所／(株)デニスカバリー

2016年3月24日(木) 午後1時

石川祐希選手(174cm)が、リオ五輪出場権をかけて、史上初大学生での海外挑戦に挑む。朝日新聞に掲載された記事の抜粋。

石川選手は、全日本男子バレーボール大会で、史上初大学生での海外挑戦に挑む。朝日新聞に掲載された記事の抜粋。

石川選手は、全日本男子バレーボール大会で、史上初大学生での海外挑戦に挑む。朝日新聞に掲載された記事の抜粋。

報告

◆2016・1・12 アイスホッケー：

第88回日本学生氷上競技選手権

大会(インカレ)において優勝
 (リニア戦に続く3冠、創部以来
 の快挙！)

◆2015・12・18 男子バレー：

天皇杯・皇后杯全日本バレーボ
 ル選手権大会でサントリーを破る
 〈春秋〉リーグ優勝、全日本インカ
 レも2年連続優勝)



◎「中大スポーツ」 新聞部提供

◆2015・11・27 ボクシング：

但馬ミツロさん(商3) 第85回全
 日本ボクシング選手権ライトヘ
 ビー級で優勝

◆2015・11・9 水泳：

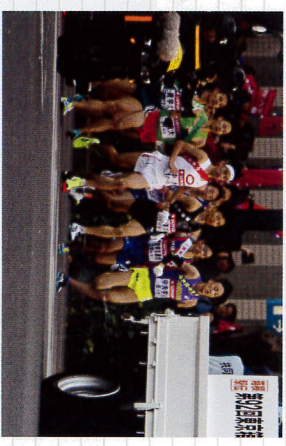
砂間敬太さん(法2) カFINA競泳
 ワールドカップ2015中東シリ
 ーズ・Fバイ大会男子200m個人メ
 ドレーでドーハ大会に引き続き金
 メダルを獲得

◆2015・11・1 射撃：

平成27年度関東学生ライフル選
 手権秋季大会・女子団体総合優勝

◆2016・1・2、3 箱根駅伝：

往路 5時間41分08秒=16位、
 復路 5時間40分40秒=14位、
 総合 11時間21分48秒=15位



- 1区町澤(法3) 1時間02分00秒区間 4位
 - 2区徳永(経4) 1時間10分42秒区間 16位
 - 3区市田(法3) 1時間05分59秒区間 16位
 - 4区鈴木(法3) 58分21秒区間 17位
 - 5区小谷(経4) 1時間24分06秒区間 14位
 - 6区谷本(経3) 1時間00分33秒区間 7位
 - 7区藤井(経4) 1時間05分00秒区間 6位
 - 8区苗村(文1) 1時間07分42秒区間 17位
 - 9区相馬(文3) 1時間14分46秒区間 19位
 - 10区松原(文4) 1時間12分39秒区間 13位
- たくさんのご声援本当にありがとう
 ございました。第93回大会も予選
 会からのスタートとなってしまいま
 したが、変わらぬご声援をよろしく
 お願いいたします。